

【参考】 境港市における下水道事業の概要

1. 下水道の整備状況等

※別紙計画平面図を参照

(1) ほぼ市内全域(農用地等除く)が下水道の計画区域であり、当初は60年程度の整備期間を想定していた。

(2) 昭和58年度に事業着手し、平成2年度より供用(下水道の一般使用)を開始した。

* 佐斐神町の終末処理場の下流側から上流側の境地区方面へ順次整備してきた。

(3) 平成19年度末における下水道の普及率は45.6%、現在は境地区(パティオ付近)、上道地区(市役所周辺)などを整備中である。

(普及率の参考) 全国平均:71.7%、鳥取県内:59.8%

(4) 下水道の現認可区域(大正川より東側の境地区など)は、平成23年度に整備完了の予定である。

(5) 引き続き米川の東側まで認可区域を拡大し、現在のペースで境地区、上道地区は平成28年度頃にほぼ整備できる見通しである。

* 終末処理場から離れているため、人口密集の境地区の整備がまだ残っており、優先的に整備する方針である。

◇整備状況(平成20年3月末時点)

項目	行政区域	全体計画	整備済み
人口(人)	36,622(A)	36,500	16,693(B)
面積(ha)	2,879	1,743	681.9

◇普及率及び水洗化率(下水道への接続率)

普及率(B)／(A)	水洗化戸数	水洗化人口	水洗化率(C)／(B)
45.6%	5,818戸	14,551人(C)	87.2%

◇既存の主要施設

終末処理場	汚水管渠	中継ポンプ場	日最大処理能力	日平均流入水量
下水道センター	132.3km	1箇所(下ノ川)	7,800m ³ ／日	4,814m ³ ／日

※日平均流入水量は、平成19年度の年間実績

2. 下水道会計の財政状況

(1) 支出(平成19年度実績:1,946百万円)

(単位:百万円)

建設費 (污水管渠、処理場など) 725	市債償還金(返済) 1,009	維持 管理費 212
----------------------------	--------------------	------------------

※建設費のうち、国庫補助事業:442百万円、地方単独事業:283百万円

(2) 収入(平成19年度実績:1,946百万円)

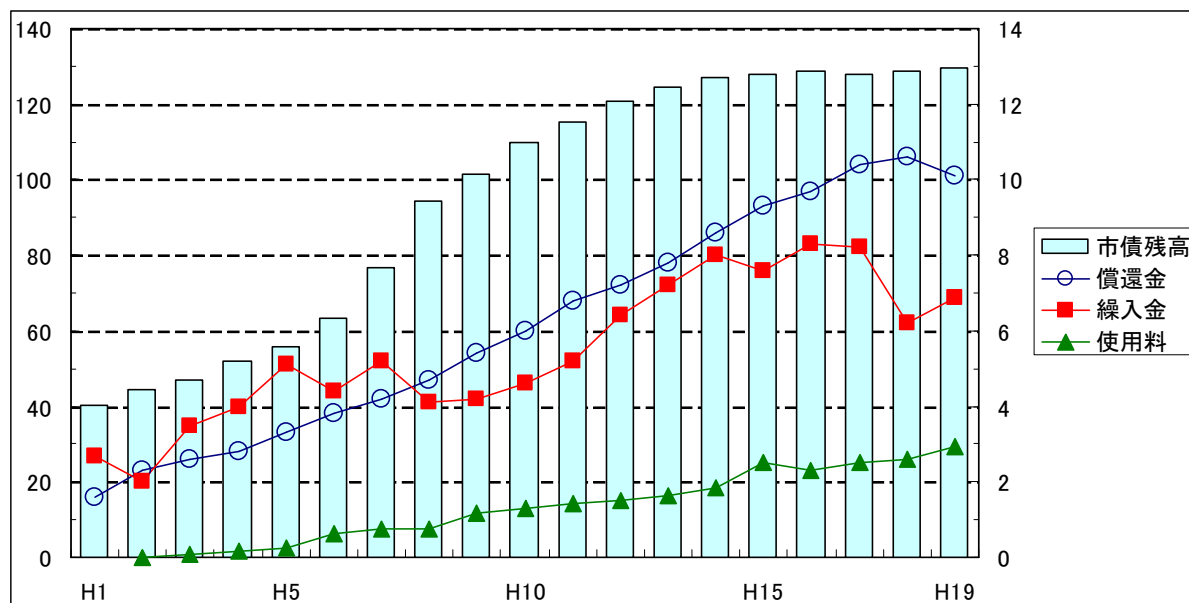
(単位:百万円)

国庫 補助金 223	市債(借入) 457	受益者 負担金 82	一般会計繰入金(市税等) 891	下水道使用料 (使用者負担) 293
------------------	---------------	------------------	---------------------	--------------------------

※先行投資の繰り延べ分の一時的な借入等は、一般会計繰入金へ計上

(3) 市債残高、償還金等の推移

(単位:億円)



※左軸—市債残高(借入残高、平成19年度末の残高:約129億円)

※右軸—市債償還金(返済)、一般会計繰入金、下水道使用料

※平成18年度、19年度の一般会計繰入金は、一時的な借入等により減額措置